

エッセンシャルガイド 「グラフィックユーザーのための機能ハイライト」

Essential Guide for Graphic Users



Adobe® Photoshop® CS2 日本語版





これまで誰も見たことがない
新しいデジタルイメージングの
世界へようこそ。
Adobe Photoshop CS2が
誘います。

Adobe® Photoshop® CS2 日本語版

「デジタルイメージングのスタンダード」。デジタル画像を扱うソフトは世にたくさんありますが、Photoshopほど卓越した機能を有し、高品質な画像をハンドリングできるソフトは他に類を見ません。

クリエイターはさまざまなアプリケーションを利用しますが、Photoshopが扱うデジタル画像は、そのものが作品となることもある一方で、クリエイティブの部材(パース)にもなります。その意味では、Photoshopほど多くのクリエイターに愛されているアプリケーションもないでしょう。デザイナー、フォトグラファーをはじめ、出版や広告、印刷、Web制作それぞれの現場

で広く使われています。その最新版であるPhotoshop CS2は、さらなる機能を追加し、使いやすさも極限まで追求。クリエイティブに欠かすことができないツールであると同時に、クリエイティブをより一層高めることができるツール、それがPhotoshop CS2なのです。新たに追加された機能はたくさんあります、たとえば、画像を自由自在に変形させることができる「ワープ」、ビットマップ画像の画質や解像度を低下させずに縮小・拡大が行える「スマートオブジェクト」、遠近法を利用して画像をパースに合わせて変形させることができる「Vanishing Point

(バニッシングポイント)」などはクリエイティブな作品づくりに活躍することでしょう。フォトグラファー向けの機能としては歪曲収差や色収差、遠近補正が一度に行える「レンズ補正」や、デジタル画像のざらつき感を抑える「ノイズを低減」、RGB時代の新しいシャープフィルタである「スマートシャープ」などが新たに搭載されました。Photoshop CS2は新次元のクリエイティブ表現を垣間見せてくれると同時に、スムーズな作業の効率化も十分に考慮しました。これまで誰も見たことがない新しいデジタルイメージングの世界を創造します。さあ、今日からあなたも……。

for Graphic Designers

for Photographers

- 2 次元の壁を越えて
8 Vanishing Point (バニッシングポイント)
10 ワープ
11 修復
12 レイヤー
13 フォントプレビュー
14 スマートオブジェクト

- 18 セレクト—Adobe Bridge
19 RAW現像—Camera RAW®プラグイン
20 レタッチ
22 ワークスペース

- 22 カスタマイズで自分好みのPhotoshopに
瞬時に切り替わる
多彩な表示モードを活かして
ベストショットを選び抜く
撮影時以上のイメージを紹介出す
写真を自在に操りフィニッシュする

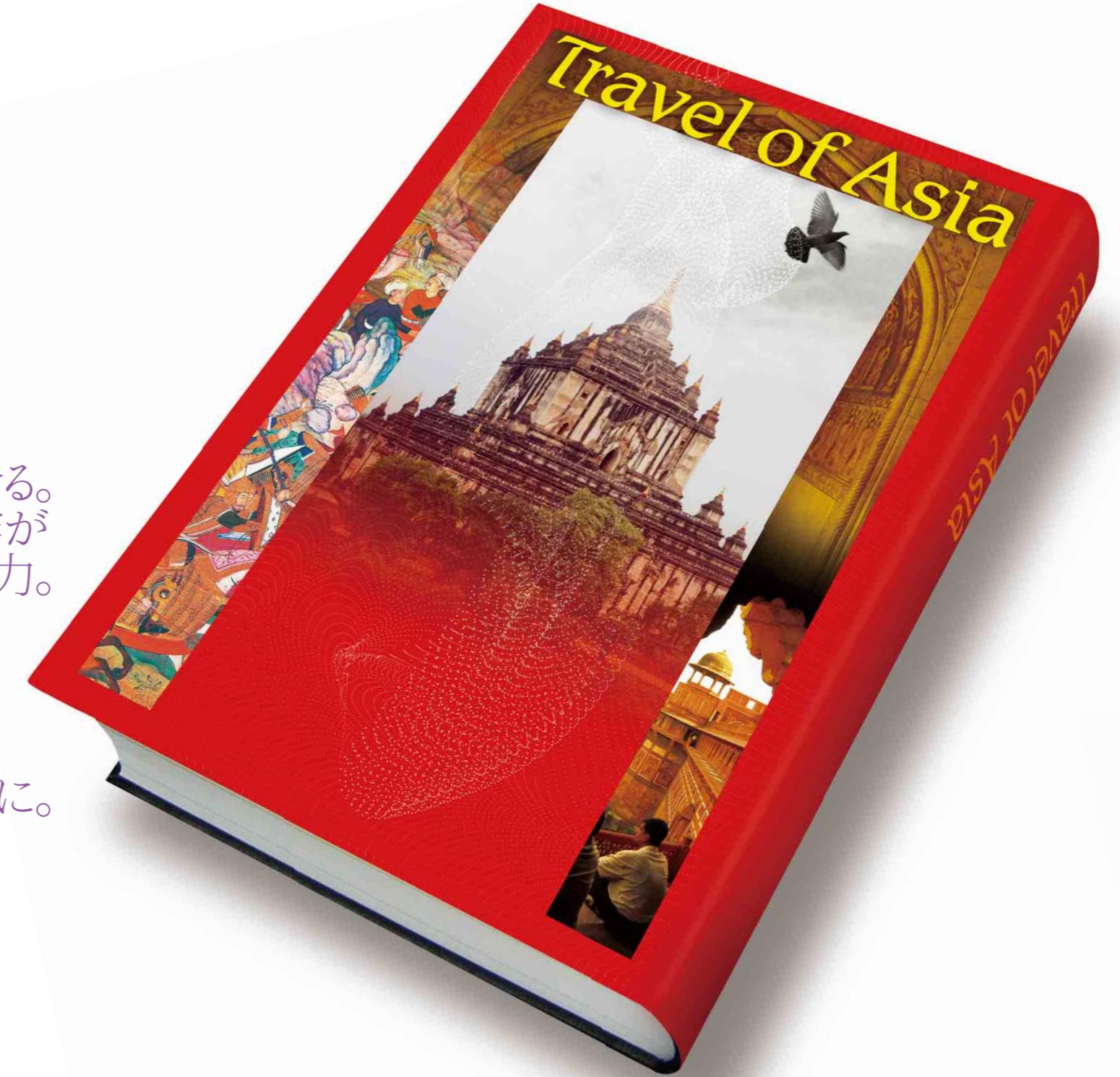
- 22 退屈で煩雑な作業を自動化
イメージプロセッサ

クリエイティブを刺激し、イメージを定着させる。
豊かな表現力を持つ多彩な機能とスマートな操作が
進化したPhotoshop CS2の魅力。

すべては未来のデザインのために。

for Graphic Designers

デジタル画像の編集ツールとして知られるPhotoshopですが、
その機能はフォトグラファーのみならず、デザイナーにとってもまた魅力的なものばかり。
Photoshop CS2はバージョンで数えればすでに9.0。その間、機能の向上を図るだけでなく、
操作性そのものも快適さを追求してきました。他のアプリケーションとのシームレスな連携も万全。
Photoshop CS2…。高次元の表現力を手にしたいすべてのデザイナーへ。

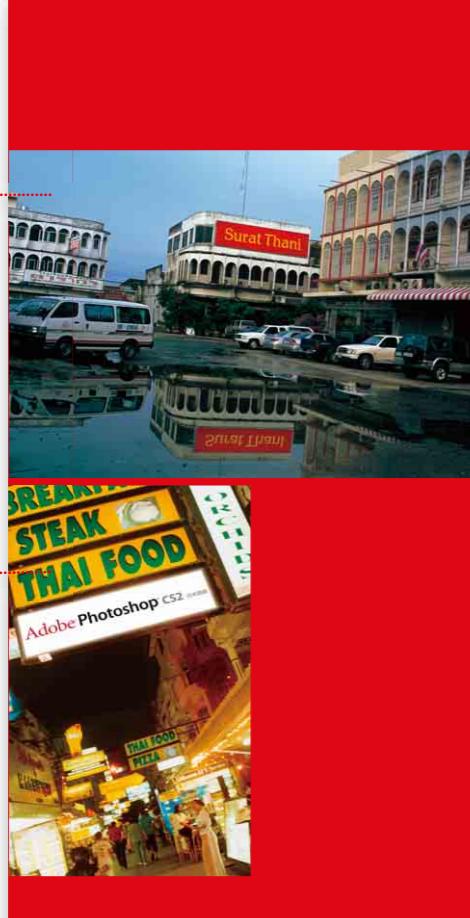


Vanishing Point

(バニッシングポイント)

▶8ページ参照

建物の壁面や、床面、あるいは地面など、パースのついた部分を加工するのに最適なツールが「バニッシングポイント」です。わざわざマニュアル操作で遠近感を補正する必要はありません。画像の持つパースに合わせて、合成画像が自動的に変形されます。違和感のない自然なイメージで看板を配置するのも簡単です。

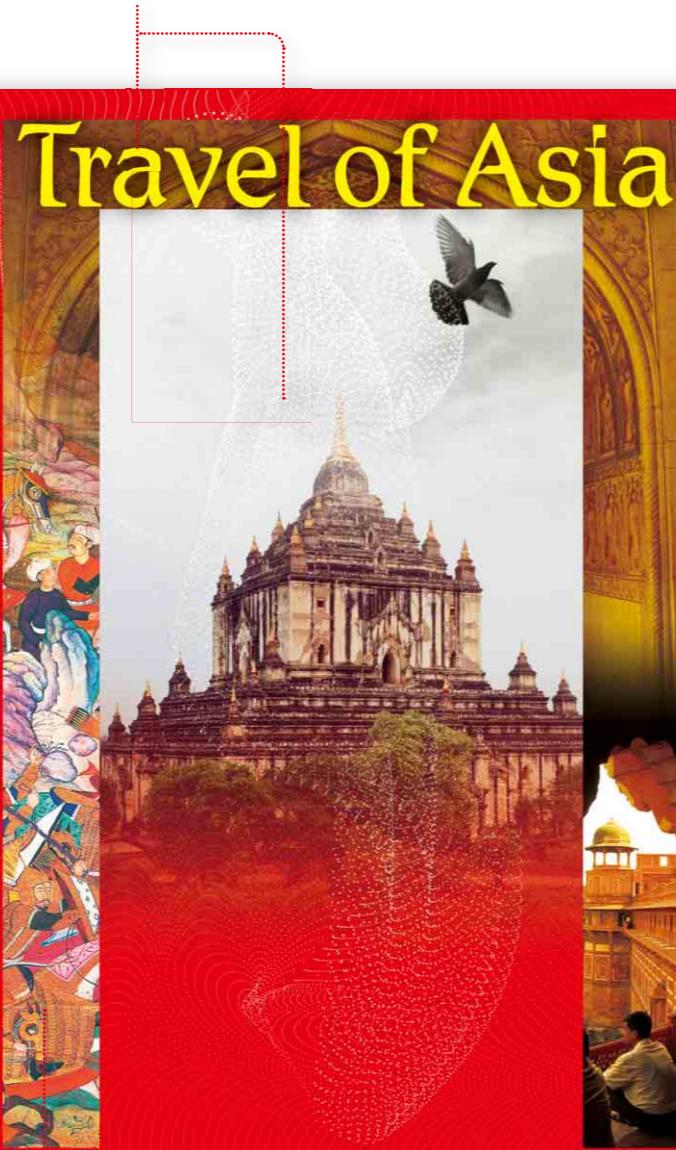


▶Photoshop CS2の機能を解説するために作成された、架空のブックカバーです。
写真提供——伊藤準 (TAVOLA)

ベクトルデータをPhotoshopに取り込む

▶14ページ参照

Adobe Illustratorで作成したベクトルデータを、オリジナルデータの品質を落とさずに取り込む機能が「スマートオブジェクト」です。特にロゴの変形の自由度を高め、品質の高い出力をサポートします。「スマートオブジェクト」はピットマップ画像に対しても有効で、拡大・縮小しても解像度の低下がありません。



容易になった複数レイヤーのハンドリング

▶12ページ参照

アクティブでないレイヤーに配置されたオブジェクトを移動したり、整列したりできる便利な機能が「スマートガイド」です。操作のたびに逐一レイヤーを選択し直す必要がなく、別レイヤーのオブジェクトを、直接操作し、整列させることができます。また複数レイヤーのグループ化などにも対応。レイヤー操作のハンドリングが向上しています。

フォトグラフ、イラストレーション、タイポグラフィなど、

グラフィックデザインの要素がまんべんなく使われる書籍のカバーデザイン。

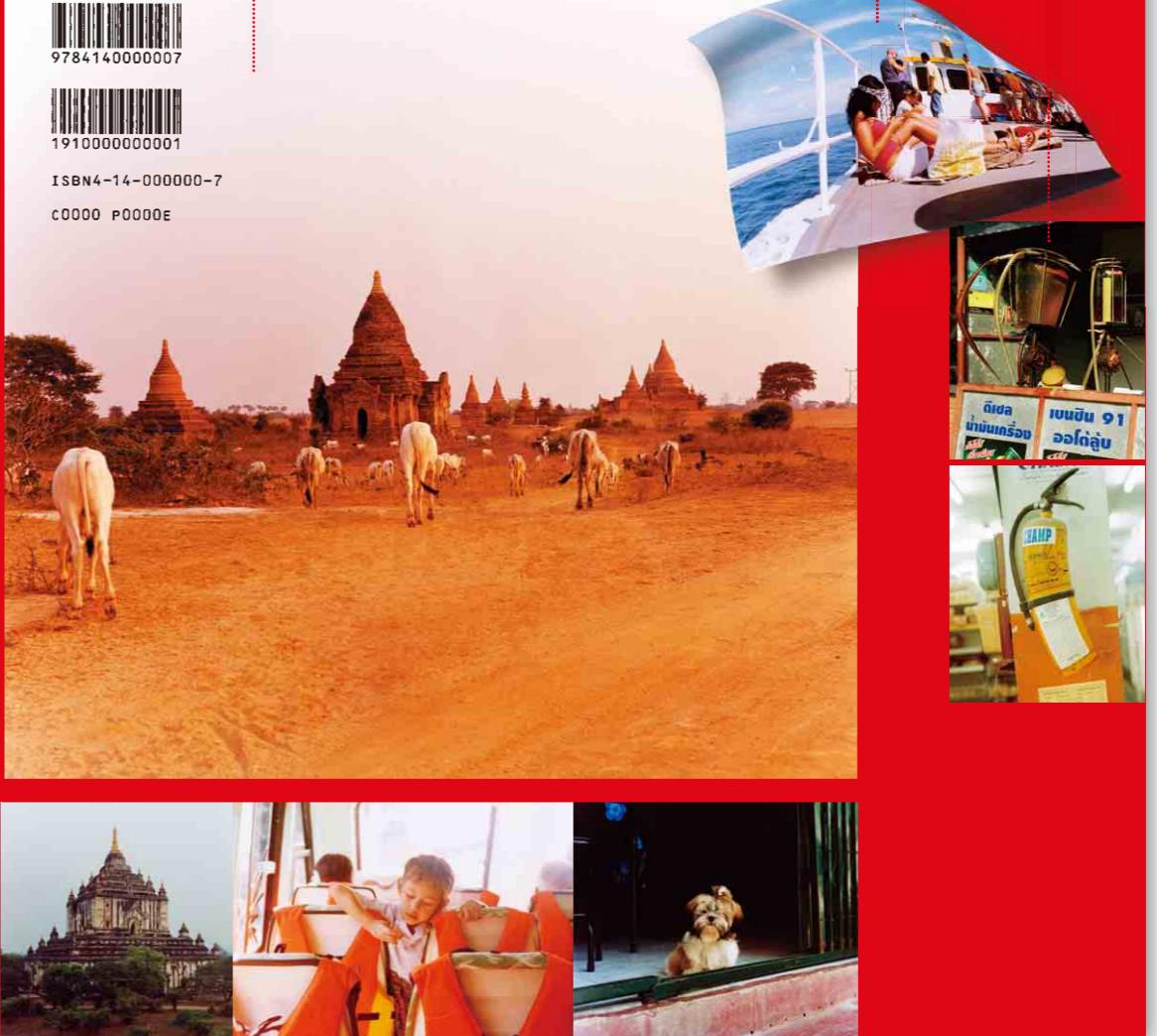
ここではそんなブックカバーのデザインを例に取り上げ、

Photoshopの新機能やそれらを利用するノウハウをお伝えします。

画像を選ばない修復ツール

▶11ページ参照

不要物をスマートに消したり、ゴミやキズを隠したり…。画像修正に便利な修復機能をもつツールを複数用意しました。消したい部分をワンクリックするだけで処理できる「スポット修復ブラシツール」をはじめ、「修復ブラシツール」「ペイントツール」など、最も効果的で手軽なツールをお使いください。



直感的に書体を選べるフォントプレビュー

▶13ページ参照

Photoshop CS2では、「フォントプレビュー」機能を新たに搭載しました。フォントメニューの各フォント名の横に書体サンプルが表示されるようになっています。実際に文字を入力しなくても、使いたいフォントのデザインがすぐにわかります。もう、フォント選びで試行錯誤を繰り返す必要はありません。

ワープツールによる大胆な変形

▶10ページ参照

ベクトルデータのようにピットマップデータを思いのままに変形する機能が「ワープ」です。従来いくつもの変形機能を組み合わせたり、3Dソフトで加工(マッピング)していたような、曲面を形成する変形がフレキシブルに行えます。変形にペジェを使っているので作業後の仕上がりもとても高品質です。



より使いやすくなったプリント機能

▶13ページ参照

「プリントプレビュー」では、異なる画像サイズと用紙サイズを一致させることができます。また特にPhotoshop CS2では、インクジェットプリンタの使用も考慮し、カラーマネジメント設定をわかりやすく再定義。これによりプリント後の状態を想定しやすくなりました。プリントの失敗を防げます。

Vanishing Point (バニッシングポイント)

2次元の壁を越えて

Vanishing Point (バニッシングポイント) とは、

デザイン用語でいうところの「消失点」。遠近法に基づいた画像の変形機能のことです。

画像が持つパース (遠近) を利用して、パースに合うように別の画像を自動的に変形。

これにより、建物の壁や床面などの合成や修正をスマートに行います。



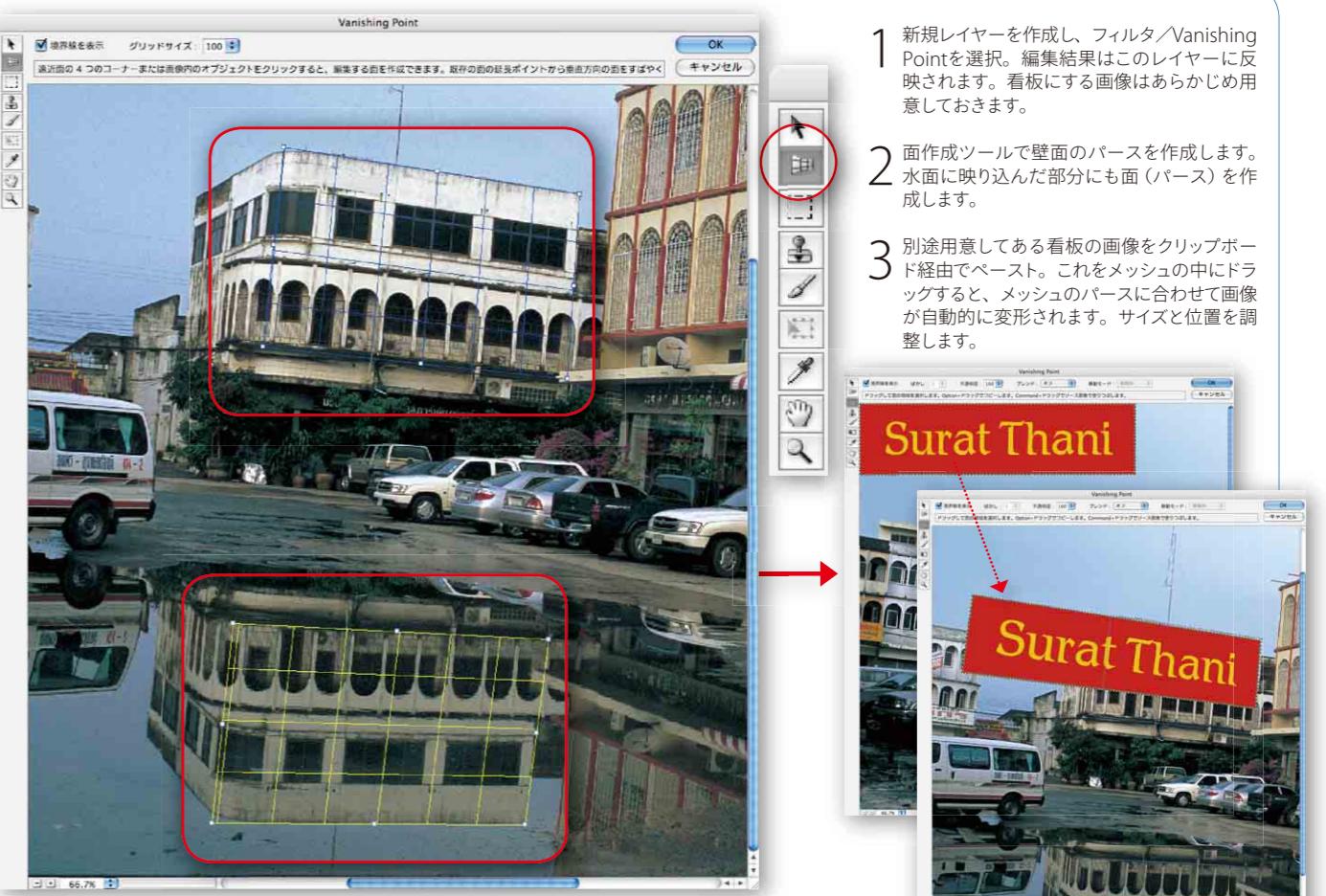
▶(左)ビルの窓に看板を配置してみます。水面に映るビルも同様に処理。
(右)タイの繁華街に「Adobe Photoshop CS2」の看板が!?

Vanishing Point (バニッシングポイント)

バニッシングポイントは、画像の壁面や床面など、パースを持つ部分に対する画像編集やグラフィック処理を、未だかつてないスマートな方法で実現します。上は、風景写真に別に用意した画像を看板として合成した例です。もともと長方形だった画像が、パースに合わせてスマートに変形、合成されています。なお、バニッシングポイントには、コピースタンプツールに似た機能も用意され、画像中の壁面や床面の不要物をパースに合わせて消すことも可能です。



▶Vanishing Point (バニッシングポイント) は
フィルタメニューにあります。



▶作成ツールを使い、基準となるコーナーをクリックする事でパースを作成。これが画像変形の基準となります。不適なときはパースが黄色や赤色で表示されます。青色で表示されるように調整してください。

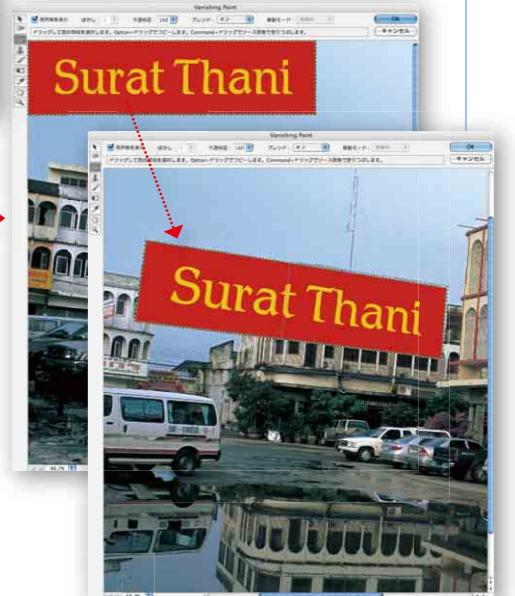


▶水面に映るビルの窓にも看板をコピー。上下に反転のチェックを入れると、パースを保ったまま画像が反転します。

1 新規レイヤーを作成し、フィルタ/Vanishing Pointを選択。編集結果はこのレイヤーに反映されます。看板にする画像はあらかじめ用意しておきます。

2 面作成ツールで壁面のパースを作成します。水面に映り込んだ部分にも面(パース)を作成します。

3 別途用意してある看板の画像をクリップボード経由でペースト。これをメッシュの中にドラッグすると、メッシュのパースに合わせて画像が自動的に変形されます。サイズと位置を調整します。



4 画像をoptionキー (WindowsはCtrlキー) を押しながらドラッグして水面部分にコピー。さらに、画面上部の「上下に反転」にチェックを入れて反転処理後、不透明度やブレンドモードの調整します。作業が完了したら「OK」をクリック。看板と壁面をなじませるために、不透明度やブレンドモードの調整、ブラシツールによる描画を行います。



▶手前の看板の一部を奥に移植してみましょう。奥行きのある空間に対しても、パースに合わせた面の作成により、簡単に画像の加工が可能です。

大胆で繊細な画像加工を簡単に

ワープ



▶カスタム…宙に舞う一枚の写真。端がめくれた表現も簡単に。

ワープ CS2 NEW

従来までのPhotoshopには、文字に対するワープ機能が備わっていました。Photoshop CS2では、その機能を拡大させ、画像に対してまさに自由自在な変形を実現しています。基本的なワープの使い方は簡単。「円弧」や「アーチ」「魚眼レンズ」など、用意された形を選べばすぐに変形できます。また「カスタム」では、メッシュ状に表示された格子線やハンドルをドラッグすることで、自由な形に変形できます。もちろん用意された規定の形を元にした変形も可能です。



画像を自由自在に変形したり、余分な部分を消去したり、さらに修復したりといった画像の複雑な編集作業。そんなデザイナーの要求にも、Photoshop CS2は優れた操作性と高い品質で十分に応えます。



▶これまで変形フィルタの「シアー」などで表現していた円筒形に巻き付けるような表現も、より簡単かつ高品質に行えるようになります。



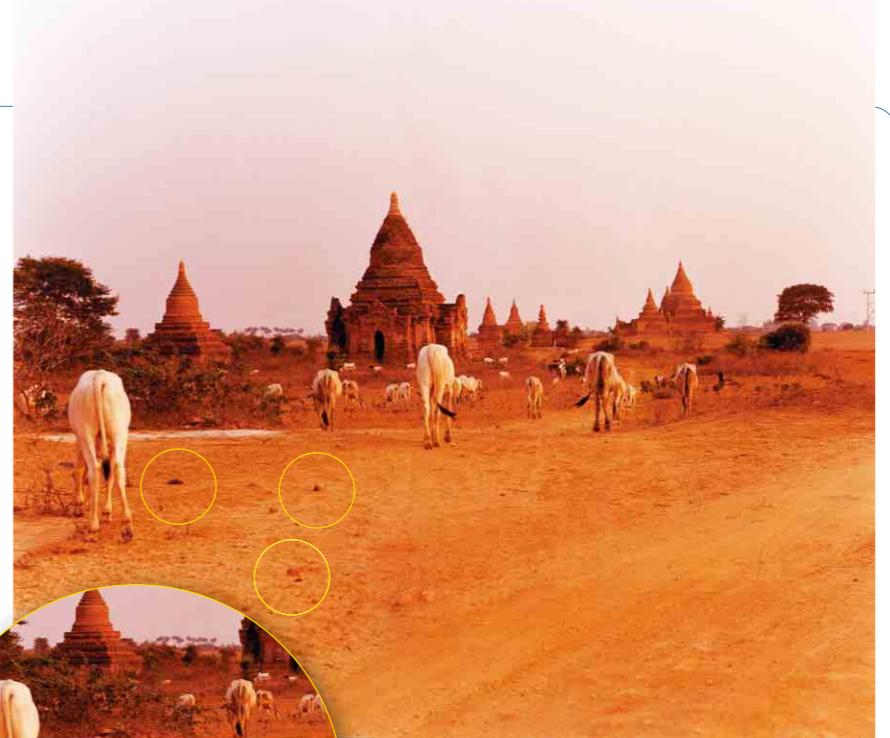
▶「旗」「貝殻」「円弧」など、プリセットによる変形を基に、ハンドルやメッシュをドラッグして好みの形に変形できます。

スポット修復ブラシツール CS2 NEW

これまで画像中の不要物の消去やゴミ、キズの修復をする際は、コピー元を指定する必要がありました。しかしこの「スポット修復ブラシツール」は、消したい部分でクリック、またはブラシ感覚で塗りつぶすだけでOK。コピー元を指定することなく、不要物やゴミ、キズをきれいに消去してくれます。手軽なだけでなくコピー元の領域が狭く指定しにくい部分などにも大変有効です。



修復

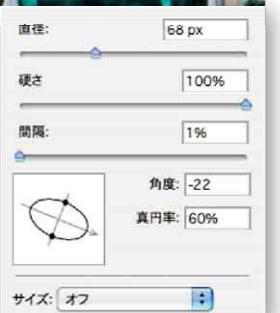


▶「コピースタンプツール」と異なり、ワンクリックでレタッチ可能。周辯画像と違和感がないように自動的に色や明度、テクスチャが処理されます。

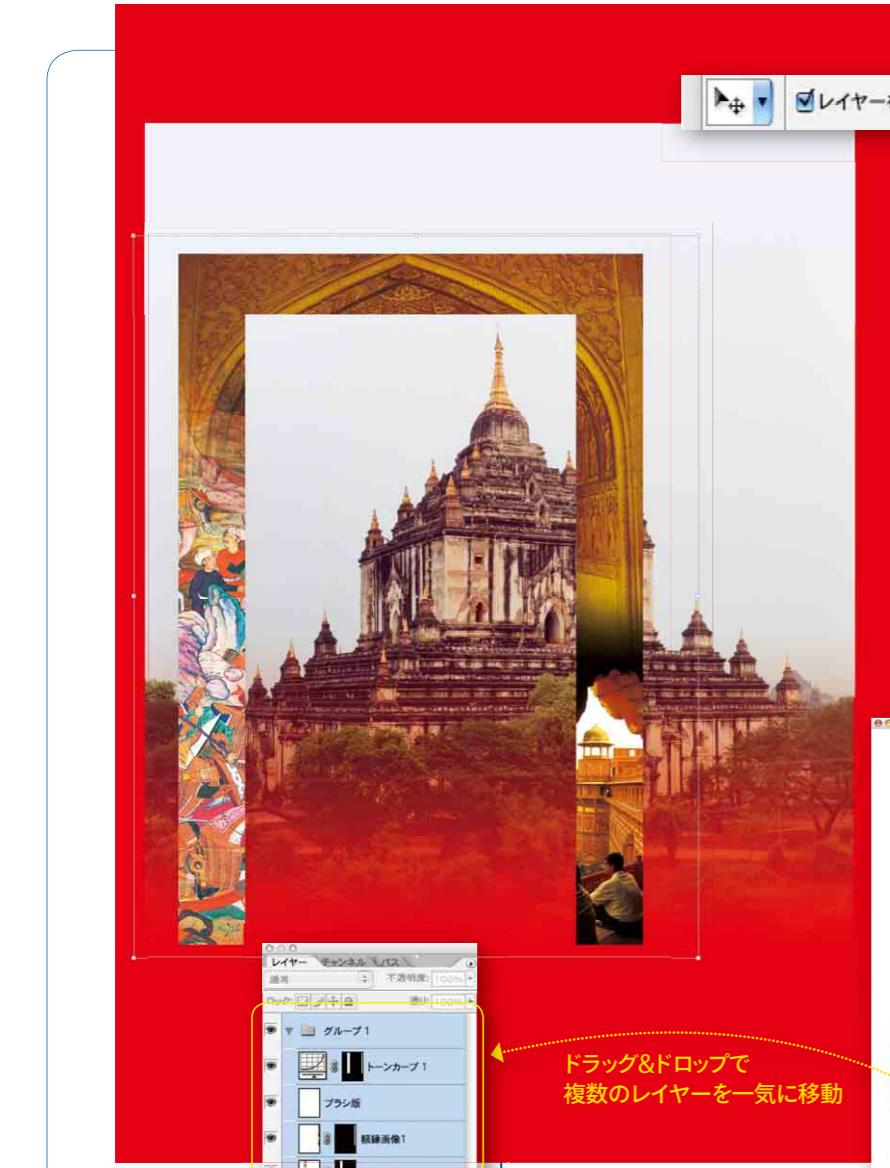


修復ブラシツール パッチツール

スポット修復ブラシツールでうまく処理できない部分や、あるいは修正部分が広範囲にわたるようなレタッチには、「修復ブラシツール」や「パッチツール」を利用します。「コピースタンプツール」と同じようにコピー元を指定後、コピー先でクリック、ドラッグしますが、その際、単純に画像をコピーするのではなく、修正箇所とその周囲とが不自然な結果にならないよう、明度やテクスチャなどを自動的に処理するのが特徴です。



▶手間がかかる電線を消す作業も、「修復ブラシツール」を使うと簡単に行えます。より効果的な処理を行うには、ブラシの形状や硬さなど調整します。



レイヤー

高度な画像処理機能は、Photoshopが目指す進化の目的の一つですが、同時に使いやすい操作性もバージョンアップと共に進化してきました。Photoshop CS2では、クリエイターの直感をスムーズに形にするための操作性やインターフェイスも使いやすく改良されています。

レイヤー

レイヤーを利用した画像の高度な管理はPhotoshopの得意とするところです。Photoshop CS2では、複数のレイヤーを同時に選択してコピーしたり、また複数のレイヤーをグループ化してまとめ、一つのレイヤーセットとして扱うことができます。さらに、「移動ツール」選択時、「レイヤーを自動選択」チェックボックスをオンにしておくと、スマートガイド機能が有効になり、非アクティブ状態のレイヤーに対しても選択や移動が可能になります。

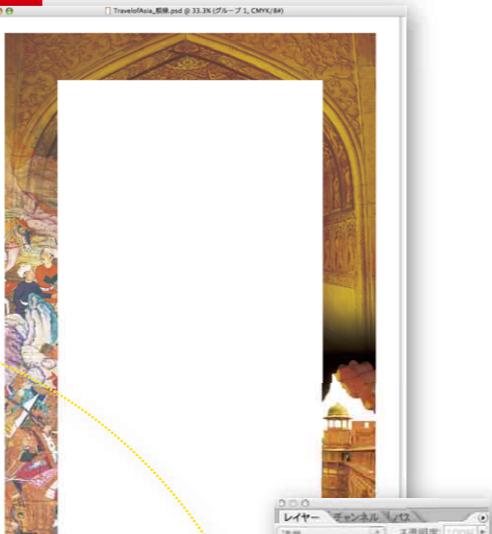
▶ベースとなる「画像データA」。ここに「画像データB」のレイヤーをまとめて移動。

▶複数のレイヤーを同時に選択して異なるドキュメントに配置

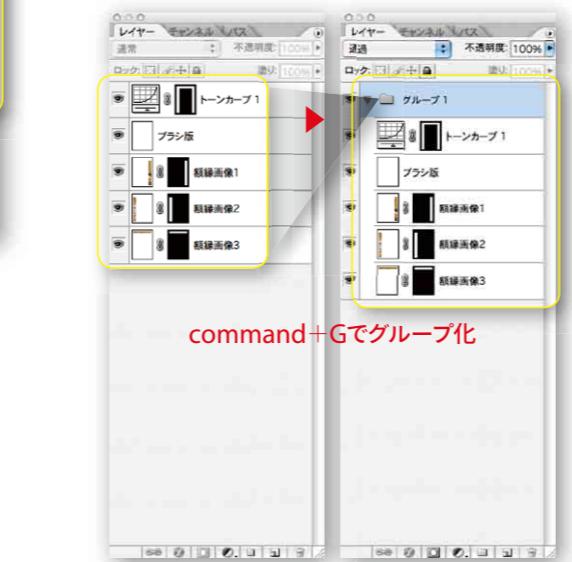
複数レイヤーのオブジェクト編集をスマートに CS2 NEW

複数レイヤーに配置されたオブジェクトを編集するのも、Photoshop CS2のスマートガイド機能を利用すれば効率的に行えます。「移動ツール」選択時、「レイヤーを自動選択」がチェックされていれば、非アクティブのレイヤーに配置されているオブジェクトをそのまま選択、移動可能です。また異なるレイヤー間の複数オブジェクトの整列にも対応しています。

複数のレイヤーを同時選択して異なるドキュメントに配置



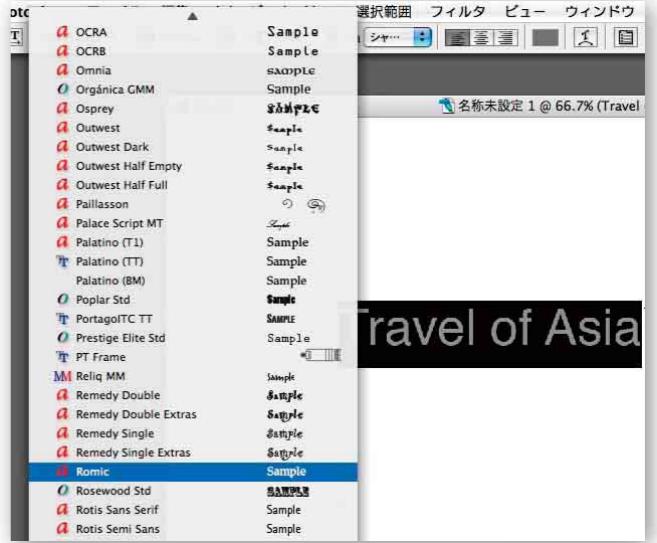
▶「画像データA」
▶「画像データB」



▶複数のレイヤーをグループ化するには、command+Gキーを押します。グループ化をやめるには、グループプレイヤーから独立させたいレイヤーを別の部分にドロップします。

フォントプレビュー CS2 NEW

Photoshop CS2では、フォントメニューの横に、書体サンプルが表示されるようになっています。もう、実際に文字を入力しなければ書体デザインがわからないということがなくなりました。わかりやすくスピーディなフォント選びをサポートします。



▶膨大なフォントメニューからでも、目的のフォントを選ぶのが簡単です。

プリント

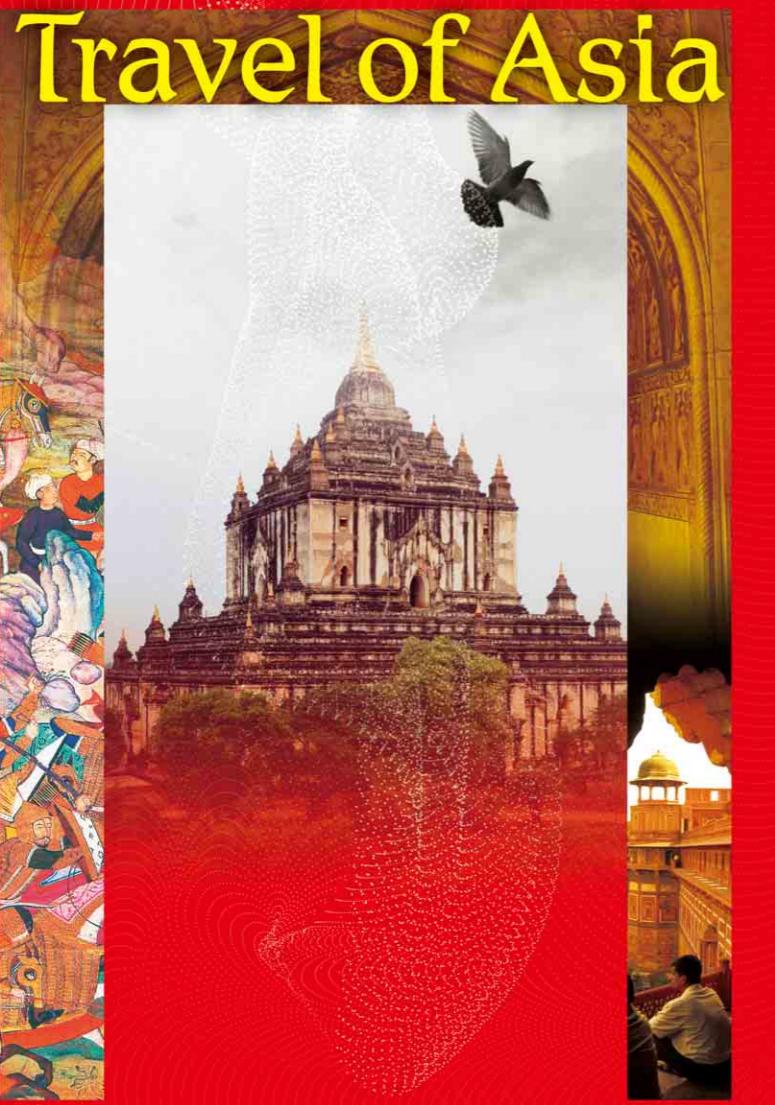
プリントプレビュー画面では、画像のサイズと用紙サイズが異なっても用紙にフィットさせたり、カラーマネジメントを利用したプリント設定が行えます。特にカラーマネジメント機能はメニューが再構成され、インクジェットプリント利用時でも設定がわかりやすくなりました。また、「説明」欄が追加され、マウスがポイントしている機能のヘルプが表示されます。



▶プリントプレビューに「オプション」欄が追加され、カラーマネジメントをPhotoshopで行うか、プリントで行うかの指定が可能になりました。

スマートオブジェクト

ベクトルとビットマップの華麗なる融合



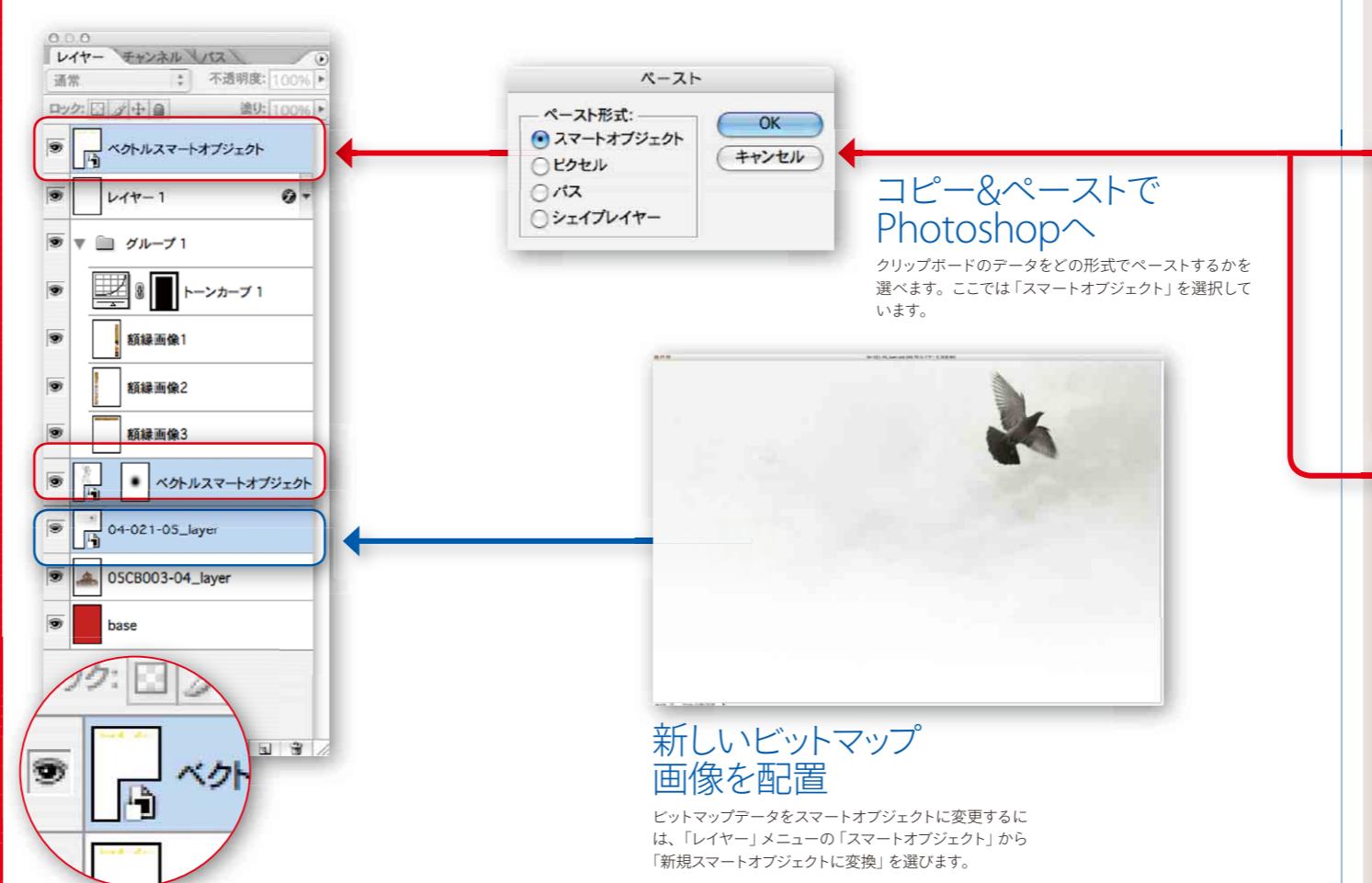
スマートオブジェクト CS2 NEW

クリエイティブ作品を作る際、レイヤー上の画像に対して縮小・拡大をしたり、変形を行ったりすることはよくあります。しかし、これらの作業を繰り返すと解像度や画質が低下することが問題でした。スマートオブジェクトはその問題を完全にクリア。オリジナルのデータを内部的に保存するため、どんなに変形を繰り返しても画質が極端に劣化することはありません。通常の画像をスマートオブジェクトに変更するにはレイヤーメニューから選ぶだけ。縮小・拡大に有効だけでなく、ワープなどの変形機能も利用可能です。

「ビットマップ画像をベクトルデータのように扱いたい…。」

グラフィックデザインに関わるクリエイターなら誰もがそう思ったことがあるはずです。スマートオブジェクトは、画像の縮小や拡大などの変形を繰り返しても、画質（解像度）を低下させずに元の画質を保つ機能。

だから最後まで高画質を維持します。Adobe Illustratorとの連携でも有効です。



▶スマートオブジェクトのレイヤーには、このようなアイコンが表示されます。スマートオブジェクトレイヤーをダブルクリックすると、元のビットマップ画像やベクトルデータの再編集が可能になります。

新しいビットマップ画像を配置

ビットマップデータをスマートオブジェクトに変更するには、「レイヤー」メニューの「スマートオブジェクト」から「新規スマートオブジェクトに変換」を選びます。

通常のデータの場合

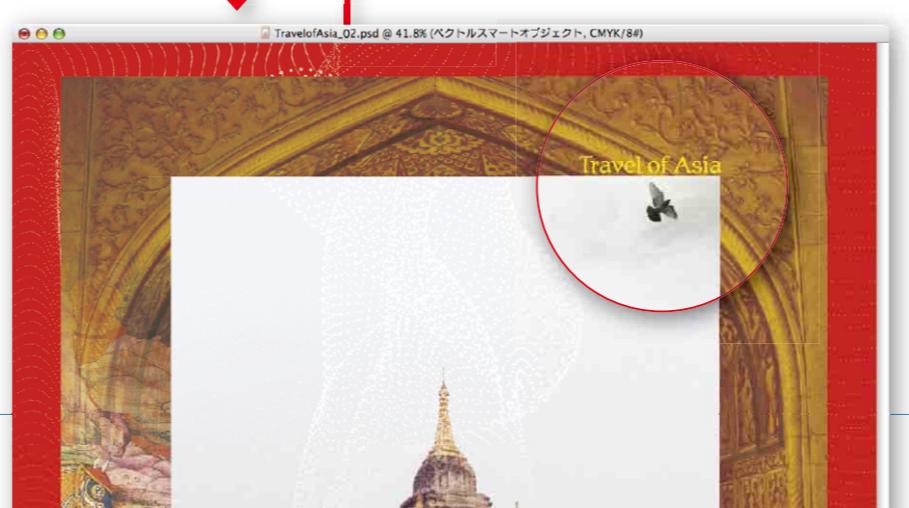


▶通常のビットマップ画像では、一旦縮小して再度拡大した場合、画質劣化が顕著です。

スマートオブジェクトの場合



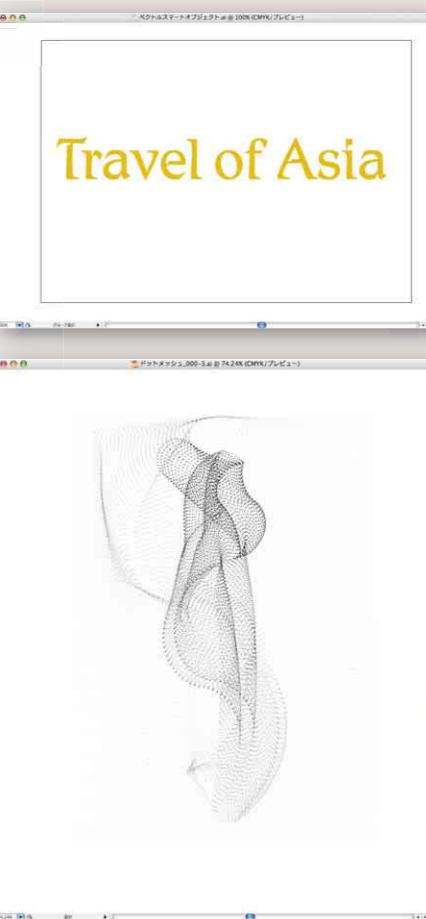
▶スマートオブジェクトを利用すると、何度も縮小・拡大や変形を行っても画質や解像度が低下しません。



スマートオブジェクトは、スマートオブジェクトをラスタライズするまで、内部的にオリジナルデータを保持します。そのため、オリジナルデータの再編集が可能です。ただし、「自由な形に」と「遠近法」の変形機能やフィルタが利用できません。それらを利用するには、いったんラスタライズする必要があります。

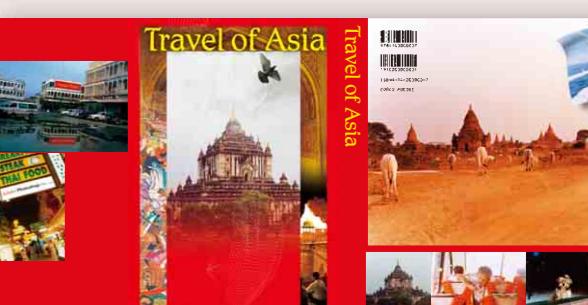
Adobe Creative Suite 2 との連携例

◀Adobe Illustrator CS2から

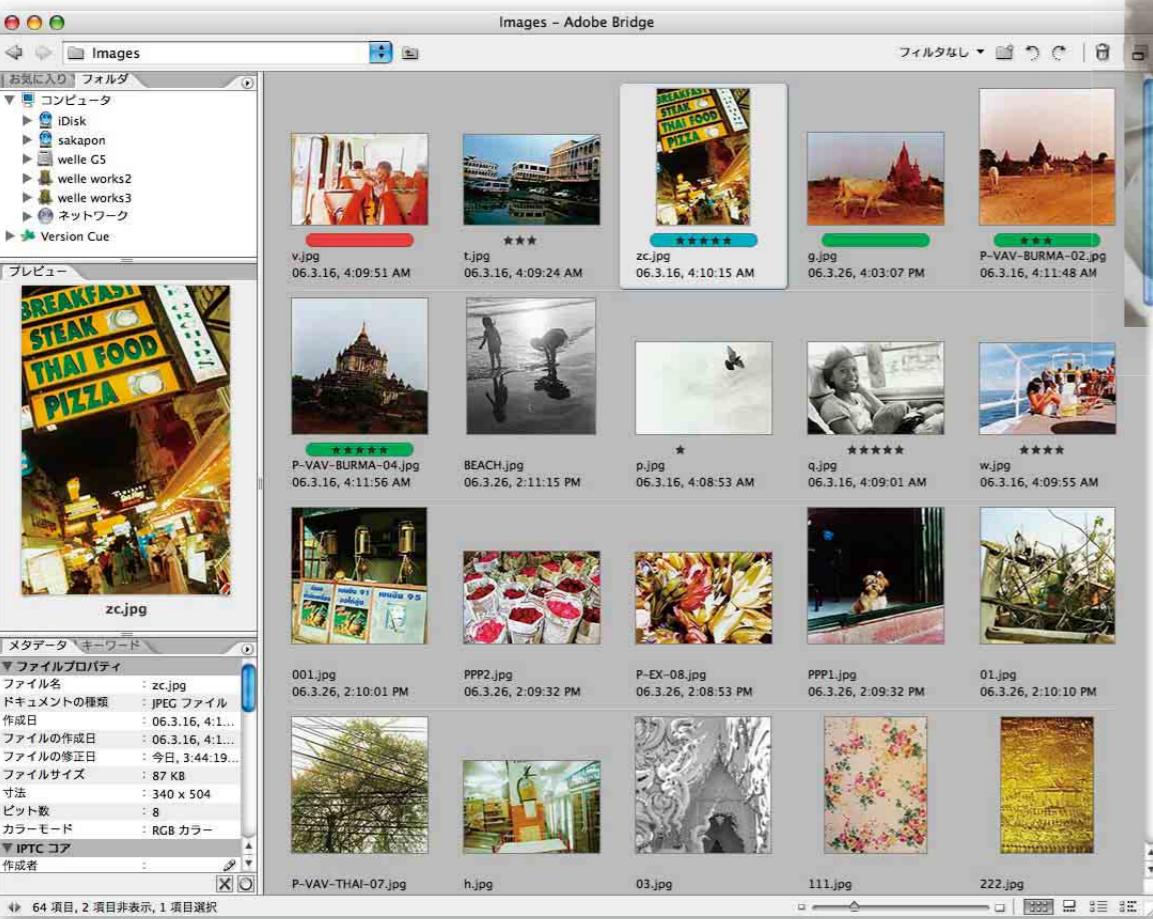


▶Adobe Illustratorで作成したロゴや、地紋、バター
ンなどのデータを、ベクトルデータのままPhotoshopに
ペーストできます。

▶Adobe InDesign CS2へ



▶完成した画像をInDesign上でレイアウトし、フライヤー、チケットなどのアイテムに展開。すべての作業が
Adobe Creative Suite 2でシームレスに行えます。



1 多彩な表示モードを活かして
ベストショットを選び抜く
セレクト——
Adobe Bridge



2 パラメータを駆使して
撮影時以上のイメージを紡ぎ出す
RAW現像——
Camera RAWプラグイン

写真のセレクト、現像、レタッチまで…。
ワークフローをスマートに再構築し、
フォトイメージングの完成度を追求する。
デジタルで飛躍するフォトグラファーのために。

for Photographers

フォトグラファーにとってもや必須のツールであるPhotoshop。

そしてPhotoshop CS2の進化は、フォトグラファーにこそ使ってほしい機能が満載。

RAWデータやTIFF、JPEGといった画像形式にとらわれず、一元化したワークフローを実現し

ハイクオリティでハイパフォーマンスなフォトエディティング環境を提供するなど、

Photoshop CS2でなければできない、新たなフォトイメージングの世界が広がります。

1

多彩な表示モードを活かしてベストショットを選び抜く

セレクト— Adobe Bridge



画像を拡大表示して細部をチェック

フィルムストリップ表示

写真を1点ずつ入念にチェックしたいなら、画像を拡大表示するフィルムストリップ表示に切り替えましょう。サムネール（ストリップ）欄で選んだ写真が拡大表示されます。サムネール欄の画像をカーソルキーで変更すれば、それぞれの画像を拡大して軽快にチェックできます。



自分仕様の表示モードを設定

表示形式のカスタマイズ

それぞれのワークフローの形に合わせて、表示形式（ワークスペース）を自由に設定できるのもAdobe Bridgeの特徴です。サムネール欄や情報パレットの表示の有無、ウィンドウのサイズなどを記録できます。図は、普及が進んでいる大画面のモニタを利用した写真の比較用のカスタマイズ例です。

デジタルフォトグラファーのワークフローを完全サポート

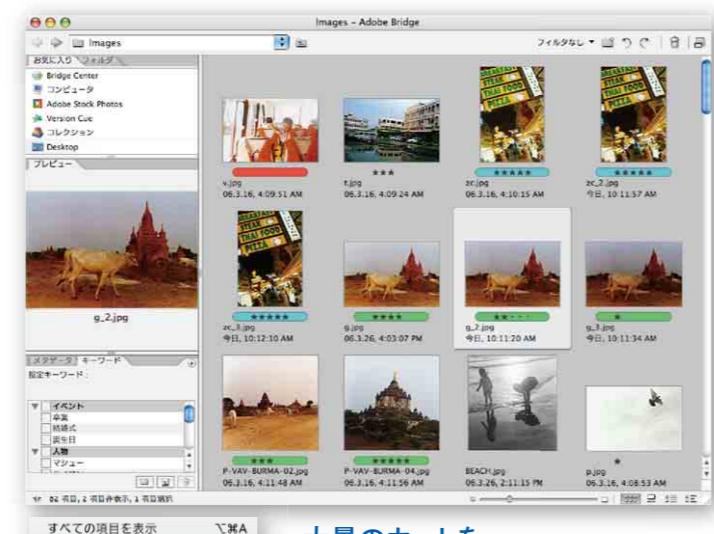
デジタルになって画像のセレクトや現像で作業が大変になった…。

そんな声も聞かれますがAdobe Photoshop CS2はそんな心配も過去のものにします。

「本当に必要とするカットを素早く見つける」Adobe Bridgeと、

「選んだカットを思いのままに現像する」Camera RAWプラグインとが、

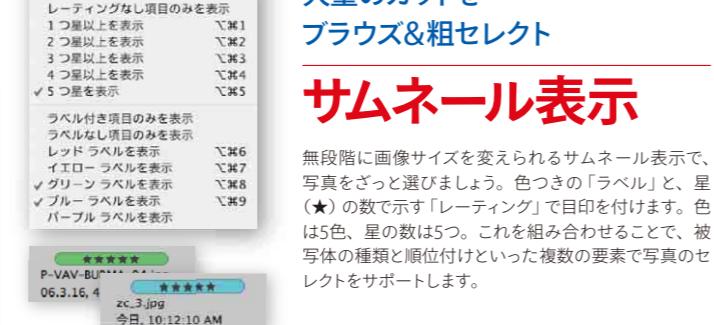
本当のデジタルワークフローを実現します。



大量のカットを ブラウズ&粗セレクト

サムネール表示

無段階に画像サイズを変えられるサムネール表示で、写真をざっと選びましょう。色つきの「ラベル」と、星（★）の数で示す「レーティング」で目印を付けます。色は5色、星の数は5つ。これを組み合わせることで、被写体の種類と順位付けといった複数の要素で写真のセレクトをサポートします。



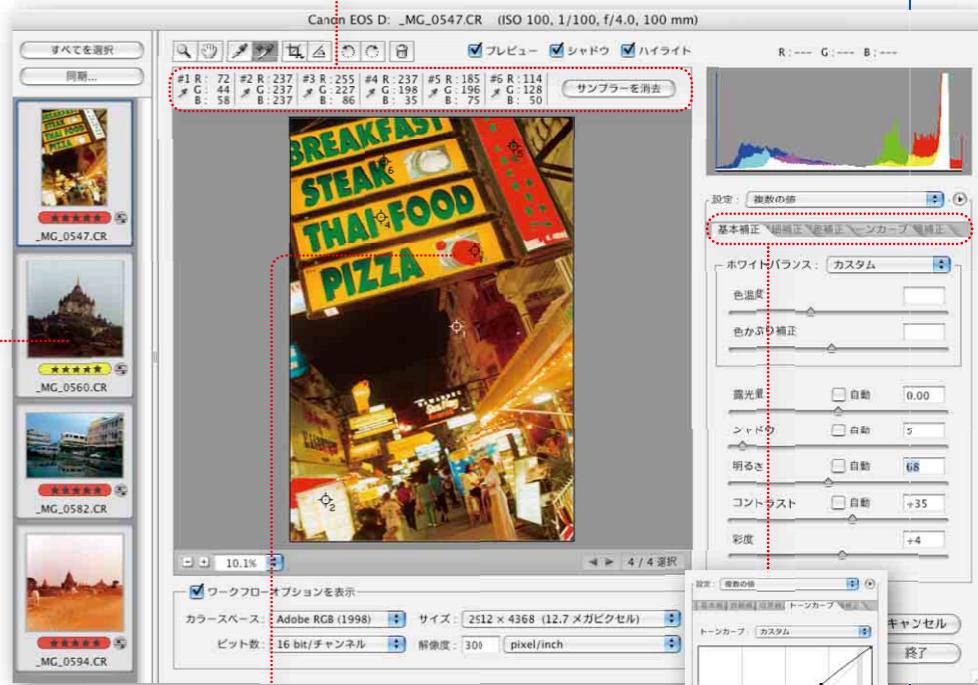
自分仕様の表示モードを設定

表示形式の カスタマイズ

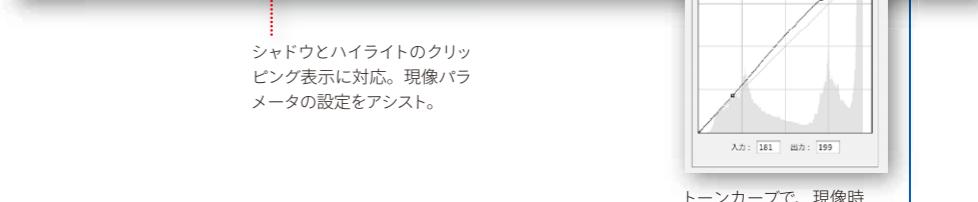
複数画像の 同時処理現像作業を加速

ブラウズ& デベロップ

Camera RAWプラグインは、RAW画像を高精細かつスピーディーに現像するツール。明るさや色み、コントラストの調整や、ノイズ低減処理などを行います。複数画像の選択と400%までの拡大表示、クリッピング（画像のシャドウつぶれやハイライト飛びの確認）表示もできるので、ここで最終的な画像チェックもフォローします。



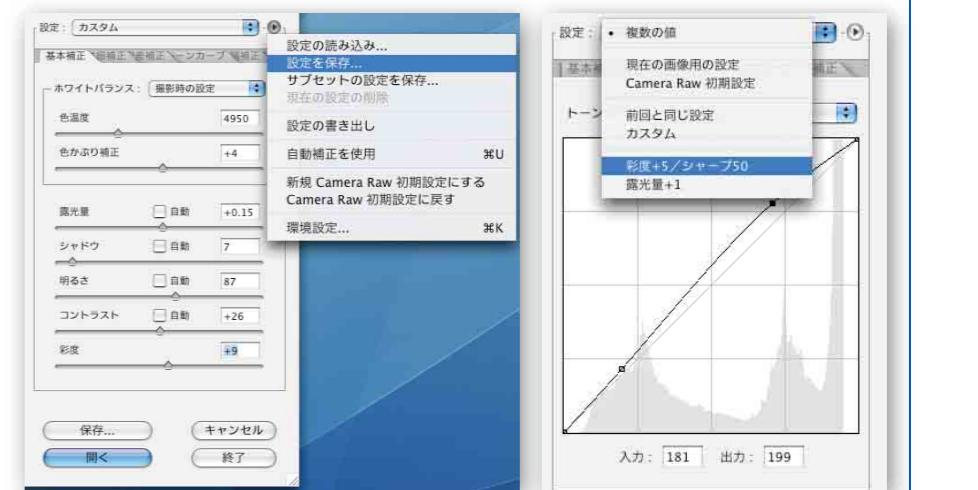
複数のRAW画像の同時現像に対応。現像パラメータのシンクロも可能。



思いのままの仕上がり設定

パラメータ設定の 保存

銀塩写真ではフィルムを変えることで仕上がりイメージが変わります。デジタルでは、それは現像パラメータの役割。その各種パラメータをセットとして保存しておくことができます。これを利用して、たとえば「ポートレート用」「風景写真用」、あるいは「ポジフィルム風」「ネガフィルム-プリント風」などのような仕上がりを手軽に設定可能です。



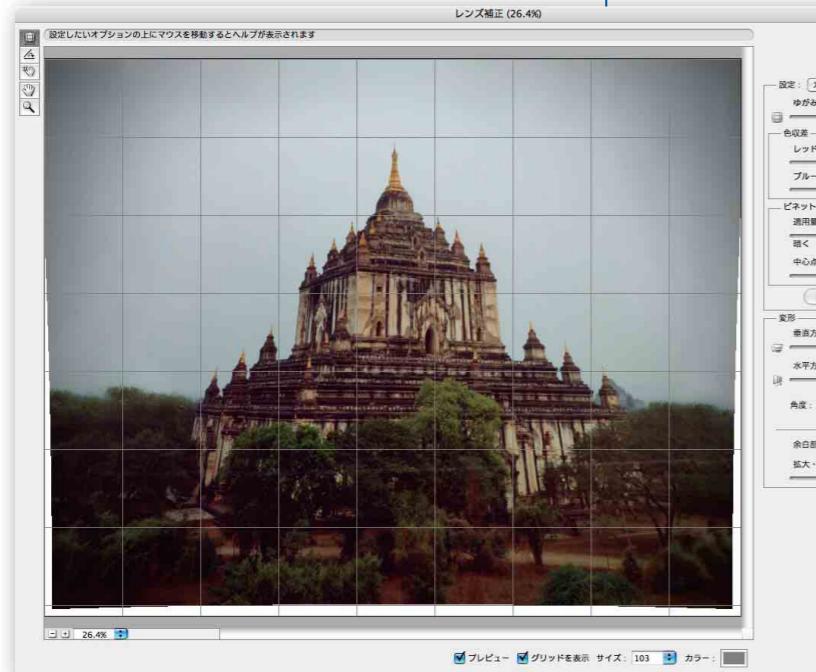
2

パラメータを駆使して撮影時以上のイメージを紡ぎ出す

RAW現像— Camera RAWプラグイン

最大9ヶ所までチェックできるカラーサンプルツールで、気になる箇所のRGB値を確認。

3 写真を自在に操りフィニッシュするレタッチ



レンズ補正前

►樽型、糸巻き型の歪曲収差や、垂直、水平の遠近補正、さらに角度補正をこの画面で処理できるため、画質劣化を最低限に抑えることができます。これまで Camera RAW プラグインにしかなかった色収差やピネット補正も可能です。



レンズ補正後

写真を自在に操り フィニッシュする

デジタル写真を補正するために実際にさまざまな機能を備えたPhotoshopは、まさにフォトグラファーに欠くことのできないパートナー。Photoshop CS2ではさらに、写真の撮影技術だけでは回避できない光学的な諸収差の補正や、ノイズ処理機能、シャープ処理機能を追加。デジタルフォトグラファーのフィニッシュワークをより完璧なものとします。

デジタルシフトを可能にし、光学的な劣化を補正する

レンズ補正 CS2 NEW

建築写真やインテリア写真では水平や垂直であることが重要視されます。「レンズ補正」フィルタを利用すると、レンズの歪みや、遠近感(パース)、角度などを一度に補正。これまで複数の変形機能で補正していた処理ですが、「レンズ補正」の一括処理によって作業が効率的になるだけでなく、画質の劣化を抑えることにも貢献します。

デジタル特有のノイズ感を目立たなくする

ノイズを低減 CS2 NEW

ノイズを目立たなくするだけでなく、ディテール(細部)の輪郭維持を両立させるのが「ノイズを低減」フィルタです。デジタル画像特有の高感度撮影時のノイズや暗部ノイズを目立たなくするだけでなく、JPEG画像の反転や輪郭部のノイズ(ハロー)を低減する機能も備えています。



ノイズ低減前

►輝度ノイズ(全チャンネルに存在するノイズ)を抑えるときには「強さ」と「ディテールを保持」でノイズ除去とシャープ感のバランスを取りながら調整します。「カラーノイズ低減」では色ノイズを抑えます。全体のシャープ感を取り戻すには「ディテールをシャープに」を利用します。



ノイズ低減後

まだまだ見逃せない
Photoshop CS2の多彩な機能
その他フォトグラファー
向け機能 CS2 NEW

32bit HDR (High Dynamic Range)

16ビットを超える32ビットの超多階調画像。高画質フォトグラフの他、CGなどの素材作成にも利用可能。

イメージプロセッサ

RAW画像を一括変換してPSDやTIFF画像に変換
►22ページ参照

スポット修復ブラシツール

写真に入った細かいキズやほこりをワンクリックで消去。
►11ページ参照

赤目修正ツール

1クリックで赤目を修正。

レンズフィルタ

色補正のためのレンズフィルタに富士フィルムの「LBB」「LBA」を追加。

RGB時代の新しいシャープネスフィルタ

スマートシャープ CS2 NEW

フォトグラファーの悩みの種の一つがシャープ処理。新しく搭載された「スマートシャープ」は従来の印刷用シャープフィルタである「アンシャープマスク」に代わる、フォトグラファーのためのシャープフィルタです。輪郭部に過度なフリンジを発生させることなく、シャープ処理が可能です。



スマートシャープ処理前

►通常は「除去」に「ぼかし(レンズ)」を指定します。これによりディテールのハロー効果を防ぎつつシャープにするため、極端な画質劣化が生じません。「ぼかし(ガウス)」は従来のアンシャープマスクと同等の処理。「ぼかし(移動)」はフレーム画像のシャープ感を取り戻します。その際には「角度」オプションが有効になります。

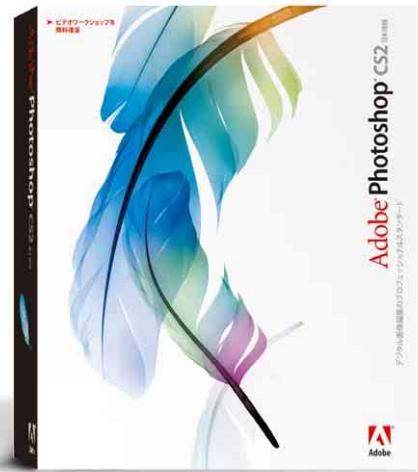


スマートシャープ処理後

Adobe® Photoshop® CS2 日本語版

デジタル画像編集のプロフェッショナルスタンダード

デジタル画像編集のプロフェッショナルスタンダードとしてPhotoshopファミリー製品の頂点に立つAdobe Photoshop CS2は、想像以上のパワーとスピード、そしてクオリティを実現します。革新的でクリエイティブなツール群を備え、ニーズに応じてメニューとワークスペースのカスタマイズも自由自在。画像の作成・編集およびファイル処理がいっそう効率化され、わずかな時間で驚くほどの結果を得ることができます。



Macintosh®/Windows®

必要システム構成

Macintosh®

- PowerPC® G3、G4、またはG5プロセッサ*
- Mac OS® X v.10.2.8~10.4日本語版(10.3.4~10.4を推奨)
- 320MB以上のRAM (384MB以上を推奨)
- 950MB以上の空き容量のあるハードディスク(Photoshop CS2のみ起動する場合)
- Adobe ImageReady CS2、Adobe Bridgeを起動する場合、追加で450MB以上の空き容量のあるハードディスク
- 1024×768以上の解像度をサポートするディスプレイ
- 16bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード
- CD-ROMドライブ
- プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)のためにインターネット接続または電話回線
- Adobe Stock Photosや付随するサービスのためにプロードバンドインターネット接続

*PowerPC G5にはMac OS X 10.3以上が必要です。

Windows®

- インテル® Xeon™、Xeon Dual、Centrino™、Pentium® IIIまたは4クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows 2000 (Service Pack 4)日本語版、またはWindows XP (Service Pack 1、2)日本語版
- 320MB以上のRAM (384MB以上を推奨)
- 700MB以上の空き容量のあるハードディスク(Photoshop CS2のみ起動する場合)
- Adobe ImageReady CS2、Adobe Bridgeを起動する場合、追加で50MB以上の空き容量のあるハードディスク
- 1024×768以上の解像度をサポートするディスプレイ
- 16bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード
- CD-ROMドライブ
- プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)のためにインターネット接続または電話回線
- Adobe Stock Photosや付随するサービスのためにプロードバンドインターネット接続

含まれるアプリケーション

- Adobe Photoshop CS2日本語版
- Adobe ImageReady CS2日本語版
- Adobe Bridge日本語版

詳細情報

Adobe Photoshop CS2日本語版について詳しくは
<http://www.adobe.co.jp/products/photoshop/>
をご覧ください。

対応ファイル形式

| ファイル形式(拡張子) | 読み込み | 保存 |
|---|------|----|
| Alias Pix (.pix)* | ● | ● |
| BMP (.bmp,.rle,.dib) | ● | ● |
| Camera Raw (.tif,.crw,.cr2,.erf,.x3f,.raf,.dcr,.mos,.mrw,.nef,.orf,.pef,.raw,.srif) | ● | |
| Cineon (.cin,.spdx,.dpk,.fido) | ● | ● |
| CompuServe GIF (.gif) | ● | ● |
| Desktop Color Separation (.DCS,.dcs) | ● | |
| Digital Negative (.dng,.DNG) | ● | ● |
| Electric Image (.img,.ei,.eiz,.eizz)* | ● | ● |
| EPS PICT プレビュー【Macのみ】 | ● | |
| EPS TIFF プレビュー (.eps) | ● | |
| Filmstrip | ● | ● |
| JPEG (.jpg,.jpeg,.jpe) | ● | ● |
| JPEG 2000 (.jpf,.jpx,.jp2,.jpc,.j2c)* | ● | ● |
| MacPaint (.mpt,.mac)* | ● | |
| OpenEXR (.exr) | ● | ● |
| PCX (.pcx) | ● | ● |
| Photoshop (.psd,.psb,.pdd) | ● | ● |
| Photoshop 2.0【Macのみ】 | ● | |
| Photoshop EPS (.EPS) | ● | ● |
| Photoshop DCS 1.0 (.EPS) | ● | ● |
| Photoshop DCS 2.0 (.EPS) | ● | ● |
| Photoshop PDF (.PDF,.PDP) | ● | ● |
| PICT ファイル (.pct,.pict) | ● | ● |
| PICT リソース【Macのみ】 | ● | ● |
| Pixar (.pxr) | ● | ● |
| PixelPaint (.pxl)* | ● | ● |
| PNG (.png) | ● | ● |
| Portable Bit Map (.pbm,.pgm,.ppm,.pnm,.pfm,.pam) | ● | ● |
| Radiance HDR (.hdr,.rgbe,.xyz) | ● | ● |
| Scitex CT (.sct) | ● | ● |
| SGI RGB (.sgi,.rgb,.rgba,.bw)* | ● | ● |
| Softimage (.pic)* | ● | ● |
| Targa (.tga,.vda,.icb,.vst) | ● | ● |
| TIFF (.tif,.tiff) | ● | ● |
| Wavefront RLA (.rla)* | ● | ● |
| Wireless Bitmap (.wbm,.wbmp) | ● | ● |
| ピックドキュメント形式 (.psb) | ● | ● |
| フォトCD (.pcd) | ● | |
| 汎用 EPS (.ai3,.ai4,.ai4,.ai5,.ai6,.ai7,.ai8,.ps,.eps,.ai,.epsf,.eps) | ● | |
| 汎用フォーマット (.raw) | ● | ● |

* Photoshop CS2アプリケーションCD-ROMの「プラグイン(オプション)」にあるプラグインで対応

▶アドビ カスタマー サービス
▶アドビストア(注文専用)

Tel. ナビダイヤル 0570-06-7337 または 03-5350-0407

電話受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝日および弊社指定休日を除く)

フリーダイヤル 0120-61-3884

Better by Adobe.™

アドビ システムズ 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー www.adobe.co.jp

このカタログに記載の情報は、2006年4月現在の情報です。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめ了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Adobe Illustrator、Adobe Reader、Acrobat、InDesign、Photoshopは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。MacおよびMacintoshは、米国および他の国々におけるApple Computer, Inc.の登録商標です。インテルおよびPentiumは、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。PowerPCは、International Business Machines Corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利利害者的所有物です。

©2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. ASJST578 4/06

